

WilComm

WilCommAS Ver.8.03 + WilCommPC Ver.4

Training Manual Lesson-2 ウィルコム®の起動と停止

Manual No - MTRN042 (Last Update 2007/07/06)



本書は、ウィルコムを WilCommAS Ver.8.03 + WilCommPC Ver.4 で初めてお使いになるシステム管理者向けトレーニング・マニュアルです。

Lesson-2 では、iSeries 及び PC サーバーにおけるウィルコムの起動方法と停止方法について解説しています。

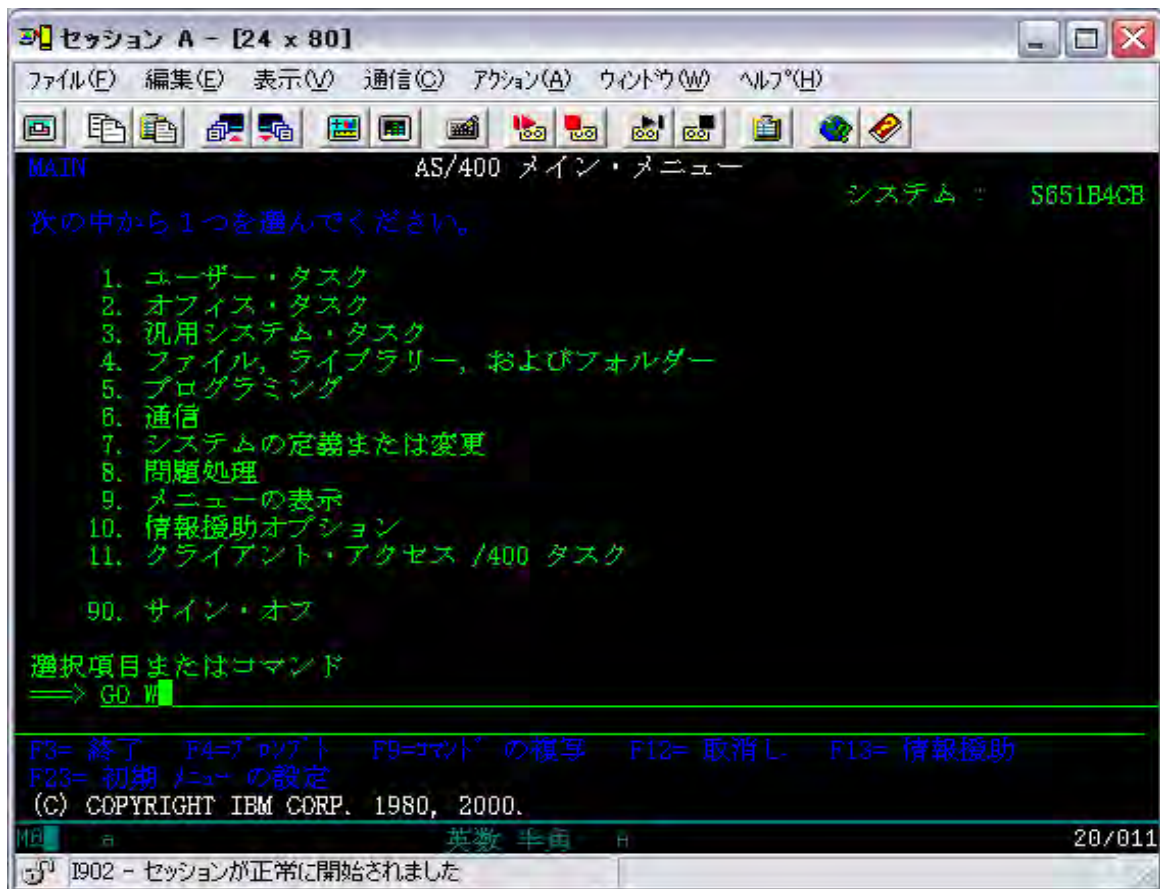
(目的)

1. iSeries 側ウィルコムの起動 / 停止ができるようになる。
2. PC サーバー側ウィルコムの起動条件を理解する。
3. PC サーバー側ウィルコムの起動 / 停止ができるようになる。

(目次)

1. iSeries のウィルコム起動方法.....	3
2. iSeries のウィルコム停止方法.....	10
3. PC サーバーのウィルコム起動方法	15
4. PC サーバーのウィルコム停止方法	25
5. 補足.....	26

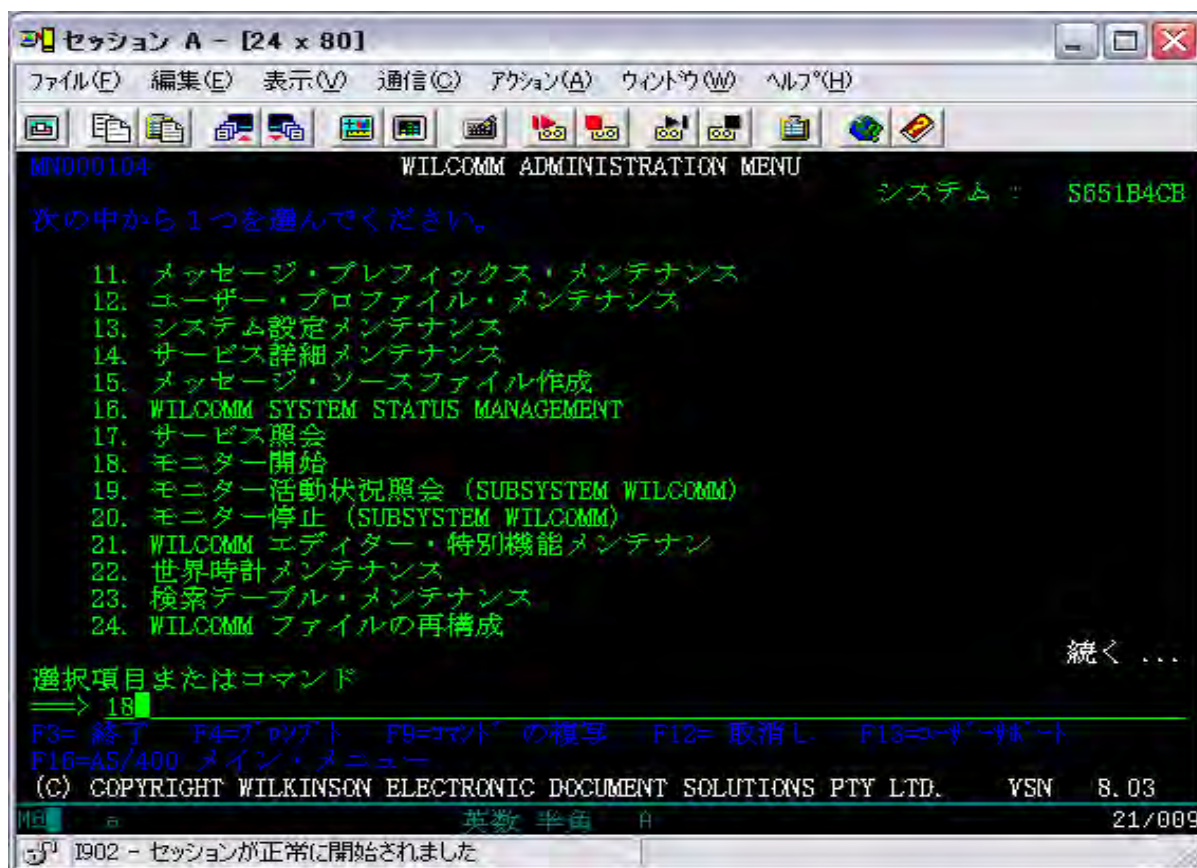
[1. iSeries のウィルコム起動方法]



QSECOFR でサインオンして、GO W を実行します。



60 : WILCOMM ADMINISTRATION MENU を選択します。



18 : モニター開始 を選択します。

ウィルコム の起動を自動化する場合は、**システム値: QSTRUPPGM** で設定されているプログラムの**最終行**に次頁のコーディングで作成した CL プログラムを追加してください。

基本 CL ソースが、ライブラリ: **WILCOMM** にありますので、ご使用いただけます。

SRCFILE(WILSAMPLES) LIB(WILCOMM) MBR(WILSTART)

コンパイルはどのライブラリでもかまいませんが、管理上ライブラリ: **WILCOMMCHG** をお勧めいたします。

<<注意>> ソースファイル: **WILCOMM/WILSAMPLES** が無いか或いは、メンバー : **WILSTART** が無い場合は、マニュアルサイトのカテゴリー「Down Load」より、ソースファイルをダウンロードしていただくことが可能です。

「**ウィルコム・起動／停止バッチプログラムソース For Ver.8.03**」DOW022 をダウンロード／解凍し、解凍されたフォルダ「DOW022」内にありますマニュアル「**ウィルコム・起動／停止バッチプログラムソース・アップロード手順書**」(DOW022.pdf)に従って iSeries にアップロードしてください。

ウィルコム自動スタート・プログラム・コーディング・サンプル(WILSTART)

```

PGM
DCL      VAR(&ENROLLED) TYPE(*LGL)
DCL      VAR(&UMSGQ) TYPE(*CHAR) LEN(10)
DCL      VAR(&UMSGQL) TYPE(*CHAR) LEN(10)
DCL      VAR(&JOB) TYPE(*CHAR) LEN(10)

/*                                             */
RTVJOBA  JOB(&JOB)
/*                                             */

CHGSYSLIBL LIB(WILQ2962)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
ADDLIB   LIB(WILCOMMD)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
ADDLIB   LIB(WILCOMM)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
ADDLIB   LIB(QTEMP)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
CALL     PGM(WPDBCSIC)
CALL     PGM(WP36) PARM(&ENROLLED &UMSGQ &UMSGQL)

/*                                             */
IF      COND(&ENROLLED) THEN(DO)
SNDDMSG MSG('YOU ARE NOT ENROLLED IN WILCOMM !') +
        TOMSGQ(&JOB)
GOTO    CMDLBL(RESET)
ENDDO

/*                                             */
CALL     PGM(WP014CQSTR) /*FOR QSTRUP */
/******CALL     PGM(WP014CBSTR) OTHER BATCH*/
/*                                             */
RESET:   CHGSYSLIBL LIB(WILQ2962) OPTION(*REMOVE)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
RMVLIBLE LIB(WILCOMMD)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
RMVLIBLE LIB(WILCOMM)
MONMSG   MSGID(CPF0000)

/*                                             */
RETURN
ENDPGM

```

スタートアップ・プログラムに上記の通りコーディングした CL プログラムを組み込んでウィルコムを起動した場合は、メニューから「18. モニター開始」を実行する必要がなくなります。

上記例は、ウィルコムを日本語環境で使用する場合の例です。英語環境でご使用になる場合は、赤字部分のライブラリ指定を「WILQ2938」に修正してからコンパイルしてください。

iSeries の IPL 時に起動します「QSTRUP」プログラム内で実行することができます。その場合、ウィルコムは TCP/IP の各種機能が開始されていることが前提となりますので、「QSTRUP」プログラムの最終ステップに組み込むようにしてください。

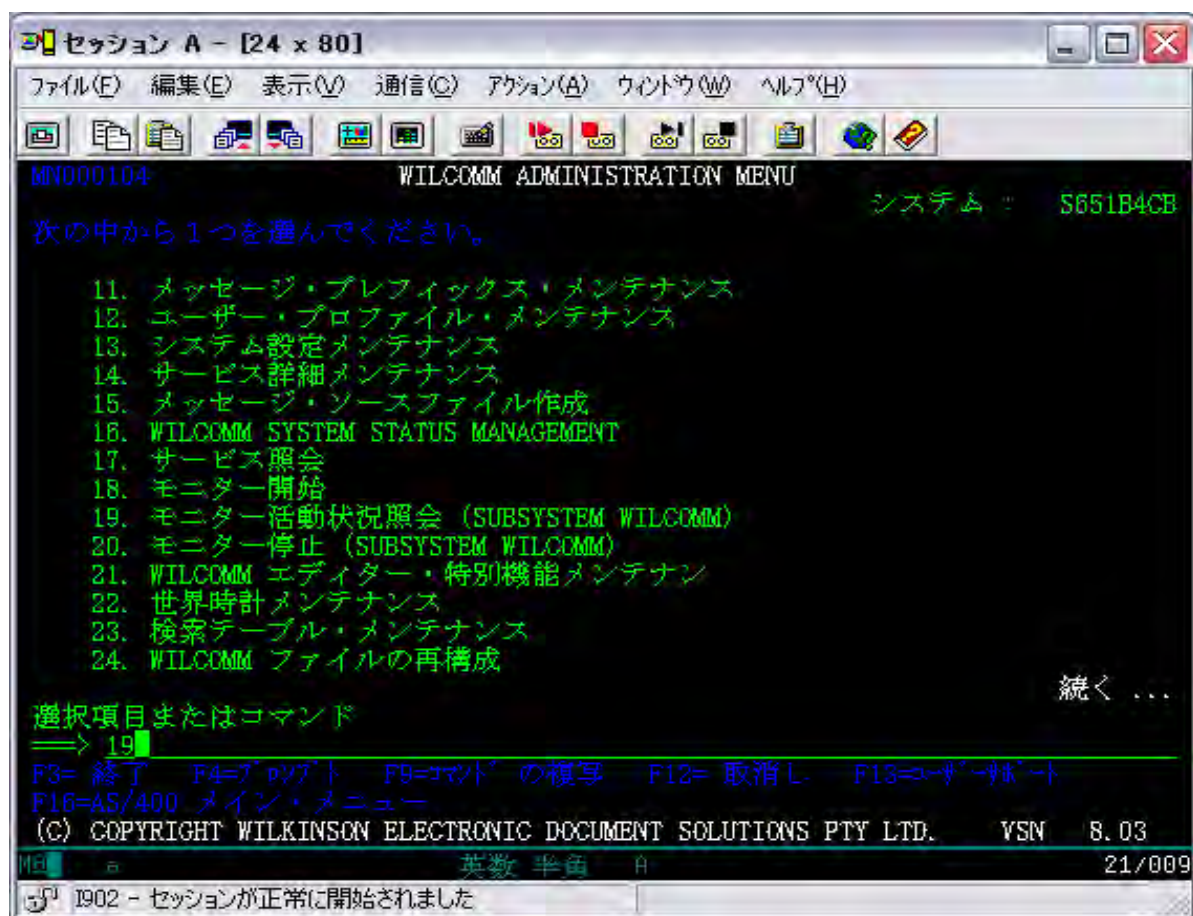
「QSTRUP」プログラム以外のバッチ・プログラムから呼び出す場合は、「WP014CQSTR」の部分を変更してプログラムを作成してください。「QSTRUP」プログラム以外のバッチ・プログラムとは、夜間のバックアップ・プログラム等でウィルコムを一旦停止した後、再度自動起動したいような場合です。

<<QSTRUP で実行する際の注意点>>

PGM: WILSTART では、まず最初にプログラムの実行ユーザーのチェックが行われます。PGM: WILSTART を実行するユーザーが、ウィルコムに登録されたユーザーであるか否かがチェックされます。認可のないユーザーが実行している場合は、前ページの 部分のロジックが処理され、ウィルコムはスタートされずに PGM: WILSTART は終了してしまいます。QSTRUP における実行ユーザーは、「QPGMR」ですので、QSTRUP で PGM: WILSTART を実行する場合は、ウィルコムにユーザー「QPGMR」が登録されている必要があります。ウィルコムにユーザー「QPGMR」を登録したくない場合は、ウィルコムに既登録のユーザーを指定して QSTRUP から PGM: WILSTART をサブミットするようにしてください。(SBMJOB コマンドは、サブミットするジョブの実行ユーザーをパラメータで指定できます)

ウィルコムのユーザー登録につきましては、「Lesson-3」を参照してください。

起動状況の確認



WILCOMM ADMINISTRATION MENU で、19: モニター活動状況照会 を実行します。

ウィルコムの子システム照会画面が表示されます。



ウィルコムのすべてのジョブは、サブシステム : WILCOMM 配下で起動しています。お客様のウィルコム環境によってジョブ表示内容は異なります。

[2. iSeries のウィルコム停止方法]



WILCOMM ADMINISTRATION MENU で、20: モニター停止 を実行します。



オプション = *NORMAL、遅延時間 = *DEFAULT で実行してください。

OPTION=*NORMAL は、その時点で処理中のジョブが正常終了するのをチェックしながら停止処理を行います。

iSeries のバックアップや IPL 時等にウィルコムを自動停止する場合は、以下の点に注意してください。

1. バックアップや IPL の時間はウィルコムを使用していない時間帯を選んでください。
2. ウィルコムを自動停止する場合は、13 頁のコーディングで作成した CL プログラムを実行してください。基本 CL ソースが、ライブラリ: WILCOMM にありますので、ご使用いただけます。

SRCFILE(WILSAMPLES) LIB(WILCOMM) MBR(WILQUIT)

コンパイルはどのライブラリでもかまいませんが、管理上ライブラリ: WILCOMMCHG をお勧めいたします。

(P5 参照)

ウィルコムは**午前0時**に不要データを削除するページ処理が自動的に起動します。この処理が実行中に **PWRDWNSYS が実行されることは好ましくありません**。最悪の場合データベースの損傷に至る場合があります。またページ処理にかかる時間はお客様のデータ量・マシン性能等によって異なりますので、午前0時頃に PWRDWNSYS を実行される場合は、**午前0時前にプログラム(WILQUIT)を実行してウィルコムを停止しておいてください**。

ウィルコム・ページ処理の遅延方法

何らかの理由で午前0時に起動するページ処理を遅延させる必要がある場合は、コマンドラインから以下のコマンドを実行してください。

```
CRTDTAARA DTAARA(WILCOMMCHG/WPPRGTAB) TYPE(*CHAR) LEN(80)  
VALUE('DLYJOB RSMTIME(999999)')
```

RSMTIME の値はページ処理を実行する時間を設定してください。例えば 120000 とするとウィルコムのページ処理は午後 12 時に起動するようになります。ウィルコムのページ処理は午前0時の実行時にこのデータエリアを参照して、そこに設定されている値のコマンドを先に実行します。

(注)ウィルコムが新規インストールされた時点では、データエリア: WILCOMMCHG / WPPRGTAB は存在していません。以下の要領でデータエリアを作成してください。

```
CRTDTAARA DTAARA(WILCOMMCHG/WPPRGTAB) TYPE(*CHAR) LEN(80)
```

ウィルコム自動終了・プログラム・コーディング・サンプル(WILQUIT)

```

PGM
DCL      VAR(&ENROLLED) TYPE(*LGL)
DCL      VAR(&UMSGQ) TYPE(*CHAR) LEN(10)
DCL      VAR(&UMSGQL) TYPE(*CHAR) LEN(10)
DCL      VAR(&JOB) TYPE(*CHAR) LEN(10)

/*
RTVJOBA  JOB(&JOB)
*/

CHGSYSLIBL LIB(WILQ2962)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
ADDLIBLE LIB(WILCOMMD)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
ADDLIBLE LIB(WILCOMM)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
ADDLIBLE LIB(QTEMP)
MONMSG   MSGID(CPF0000)
CALL     PGM(WPDBCSIC)
CALL     PGM(WP36) PARM(&ENROLLED &UMSGQ &UMSGQL)
/*

IF      COND(&ENROLLED) THEN(DO)
SNDMSG  MSG('YOU ARE NOT ENROLLED IN WILCOMM !') +
        TOMSGQ(&JOB)
GOTO    CMDLBL(RESET)
ENDDO
/*

WCSHTDWN TYPE(*NORMAL)
/*
RESET:  CHGSYSLIBL LIB(WILQ2962) OPTION(*REMOVE)
        MONMSG   MSGID(CPF0000)
        RMVLIBLE LIB(WILCOMMD)
        MONMSG   MSGID(CPF0000)
        RMVLIBLE LIB(WILCOMM)
        MONMSG   MSGID(CPF0000)
/*
RETURN
ENDPGM

```

上記の通りコーディングした CL プログラムを組み込んでウィルコムを終了した場合は、メニューから「20: モニター停止」を実行する必要がなくなります。上記例は、ウィルコムを日本語環境で使用する場合の例です。英語環境でご使用になる場合は、赤字部分のライブラリ指定を「WILQ2938」に修正してからコンパイルしてください。

WCSHTDWN は、ウィルコムのコマンドです。従いまして、コンパイルする際にはライブラリ・リストにライブラリ:WILCOMM を追加してください。

＜＜実行時の注意＞＞

PGM: **WILQUIT** では、まず最初にプログラムの実行ユーザーのチェックが行われます。PGM: **WILQUIT** を実行するユーザーが、ウィルコムに登録されたユーザーであるか否かがチェックされます。認可のないユーザーが実行している場合は、前ページの 部分のロジックが処理され、ウィルコムは停止されずに PGM: **WILQUIT** は終了してしまいます。実行ユーザーをウィルコムに登録するか、或いは既登録ユーザーで実行するようにしてください。

ウィルコムのユーザー登録につきましては、「Lesson-3」(MTRN043)を参照してください。

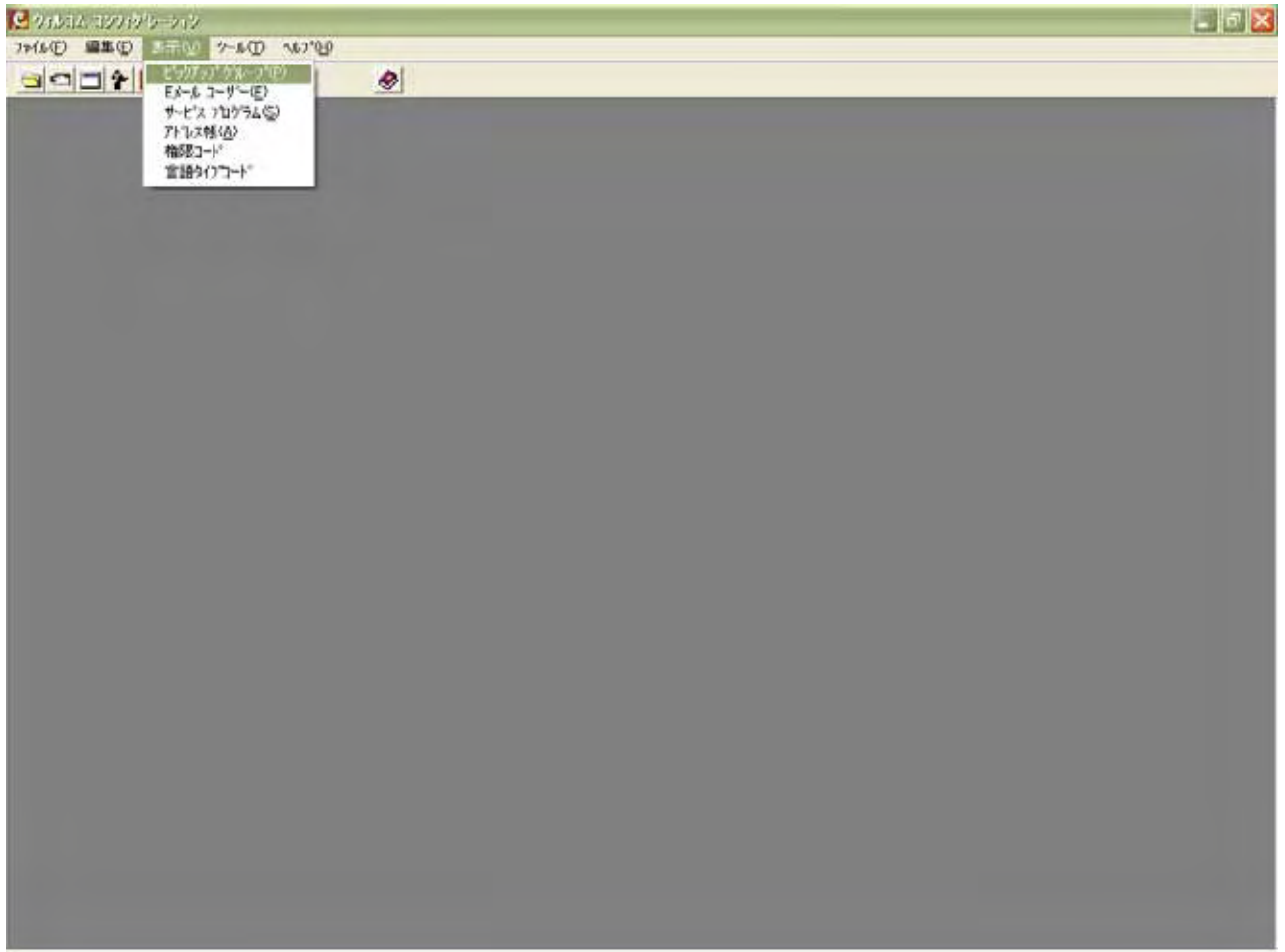
[3. PC Server のウィルコム起動方法]



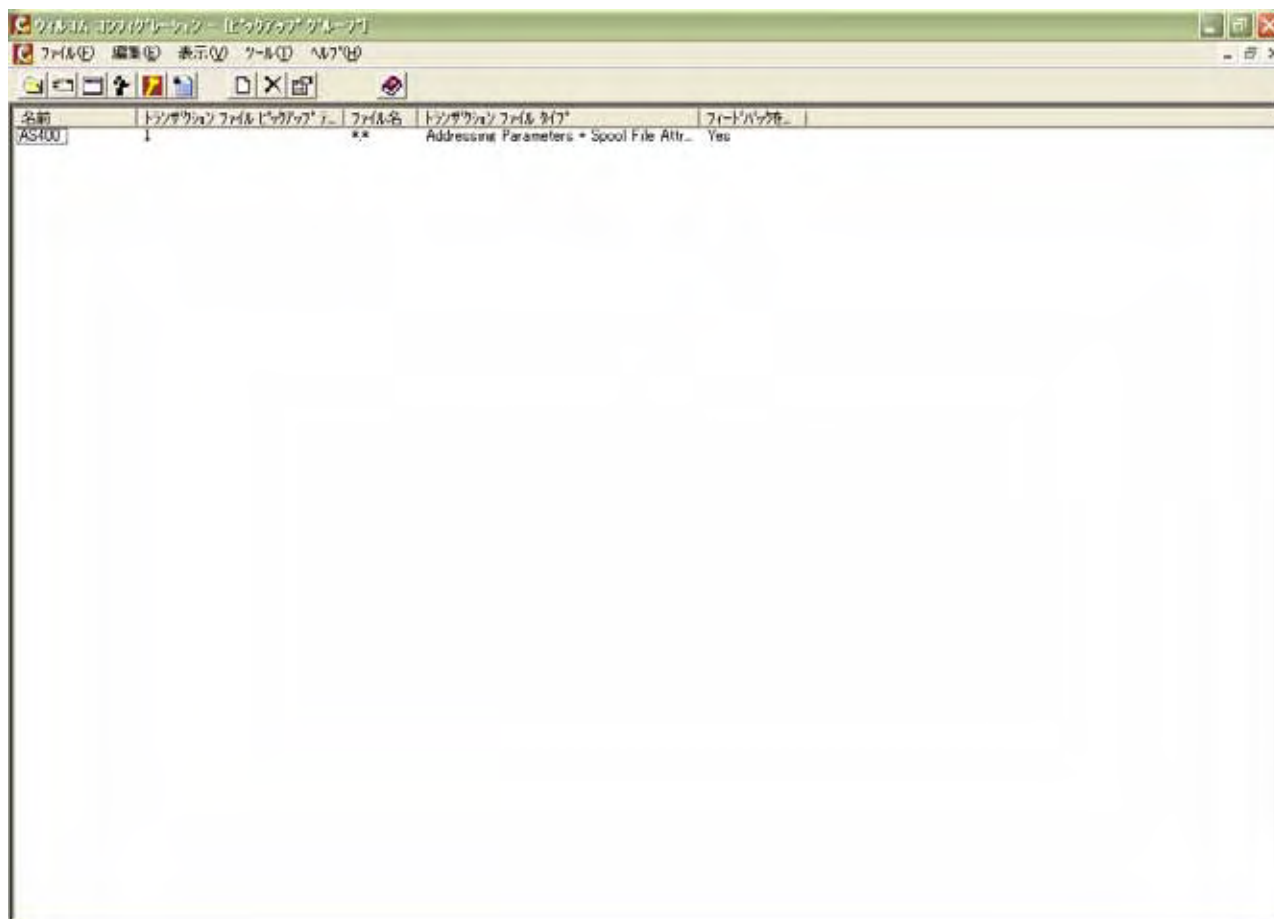
PC Server のウィルコムを起動する前にネットワークドライブが接続されていることを確認してください。
このネットワークドライブは、iSeries の **/WILKINSON/SI** フォルダ(共有名:wilkinsn)に接続されています。
ドライブ名(ここでの例は I ドライブ)は、Wilcomm Config での設定によって決まっております。ドライブ名が不明な場合は、次ページの要領で Wilcomm Config を起動して確認してください。



「スタート」→「プログラム」→「Wilkinson」→「Wilcomm 4」→「Wilcomm Config」で起動します。



ツールバーの「表示」→「ピックアップグループ」を選択します。



ピックアップグループとは・・・

PC側のウィルコム・モジュールが、何処のフォルダから処理対象データを受け取るかを指定する定義です。
iSeries側で処理されたスプールデータを、何処から受け取るかを定義します。

iSeriesからのデータ・ピックアップ定義をダブルクリックします。

「ピックアップ オプション」タブ

The screenshot shows a dialog box titled "ピックアップグループ編集" (Pickup Group Edit). At the top, there are two text input fields: "ピックアップグループ:" (Pickup Group) containing "AS400" and "ローカル作業ディレクトリ:" (Local Work Directory) containing "AS400". Below these is a tabbed interface with five tabs: "ピックアップオプション" (Pickup Options), "言語" (Language), "送信添付情報" (Transmission Attachment Information), "送信結果" (Transmission Results), and "ウルトライファイティング" (Ultrafitting). The "ピックアップオプション" tab is active. It contains a section titled "ファイルの取り出し" (File Retrieval) with the following fields: "ピックアップディレクトリ:" (Pickup Directory) with a text box containing "/" and a browse button "..."; "ファイル名:" (File Name) with a text box containing "**"; "ファイル形式:" (File Format) with a dropdown menu showing "トランザクション ファイルには、アドレス パラメータとスプール ファイル属性が記述されています" (Transaction files contain address parameters and spool file attributes) and a "詳細..." (Details...) button; and "参照:" (Reference) with a dropdown menu showing "スプール ファイル属性" (Spool File Attributes) and another "詳細..." (Details...) button. At the bottom of the dialog are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

「言語」タブ

This screenshot shows the same dialog box as above, but with the "言語" (Language) tab selected. The "ピックアップオプション" tab is now disabled. The "言語" tab contains a section titled "ピックアップフォルダー言語情報" (Pickup Folder Language Information) with two radio button options: "デフォルト言語" (Default Language) which is selected and has a dropdown menu showing "<<Default Language>>", and "ファイルの拡張子の言語タイプコードを比較します" (Compare language type codes by file extension). At the bottom of the dialog are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

「送信添付情報」タブ

The screenshot shows a dialog box titled "ピックアップグループ編集" (Pickup Group Edit). At the top, there are two input fields: "ピックアップグループ:" (Pickup Group) containing "AS400" and "ローカル作業ディレクトリ:" (Local Work Directory) containing "AS400". Below these are five tabs: "ピックアップオプション" (Pickup Options), "言語" (Language), "送信添付情報" (Transmission Attachment Information), "送信結果" (Transmission Results), and "ファイルリファイネンティック" (File Refinement). The "送信添付情報" tab is selected. The main area contains the text "ホストからメールに添付されるファイル" (Files attached to mail from host) and "ピックアップディレクトリ:" (Pickup Directory) with a text box containing "[*ATTACH" and a browse button "...". At the bottom are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

「送信結果」タブ

The screenshot shows the same dialog box as above, but with the "送信結果" (Transmission Results) tab selected. The main area contains the text "ホストへ返す実行結果" (Execution results to return to host) and a checked checkbox "以下のディレクトリへ、実行結果のファイルを作成" (Create result files in the following directory). Below this is a text box containing "[*RESULTS" and a browse button "...". There is also a "ファイル拡張子:" (File extension) label with an empty text box. At the bottom are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

「ウィルノーティファイ セットアップ」タブ

The screenshot shows a configuration window titled 'ピックアップグループ編集' (Pickup Group Edit). It has two input fields at the top: 'ピックアップグループ:' (Pickup Group) and 'ローカル作業ディレクトリ:' (Local Work Directory), both containing the text 'AS400'. Below these are four tabs: 'ピックアップオプション' (Pickup Options), '言語' (Language), '送信添付情報' (Send Attachment Information), '送信結果' (Send Results), and 'ウィルノーティファイ設定' (Welcome Notification Settings), which is currently selected. The 'Welcome Notification Settings' tab contains two sections. The first section, 'ウィルコム サービス用 送信Eメールの通知' (Send Email Notification for Wilcomm Service), has four rows of radio button options: 'WilPrint', 'WilFax', 'WilMail', and 'WilFile'. Each row has three options: '失敗のみ' (Only on failure), 'すべて' (All), and '無し' (None). The '無し' option is selected for all. The second section, 'Eメール通知用 Eメール アドレス' (Email Address for Email Notification), has a label 'Eメール アドレスの解決方法:' (Email Address Resolution Method) and a dropdown menu with the text '常に通知メッセージを定義されたEメール アドレスへ送信' (Always send notification messages to the defined email address). A '詳細...' (Details...) button is next to the dropdown. At the bottom of the window are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

PC Server の Wilcomm は、iSeries からのデータを上記ドライブから受け取ります。
ここでのドライブ名とネットワークドライブ名は一致している必要があります。

Windows 環境から iSeries のフォルダをネットワークドライブとして割当てるとためには、OS400 及び i5 OS が提供するネットサーバーサービスを使用いたします。(*ネットサーバーについては、OS400 或は i5 OS のマニュアルをご参照ください。)

(ネットワークドライブが接続されない場合)

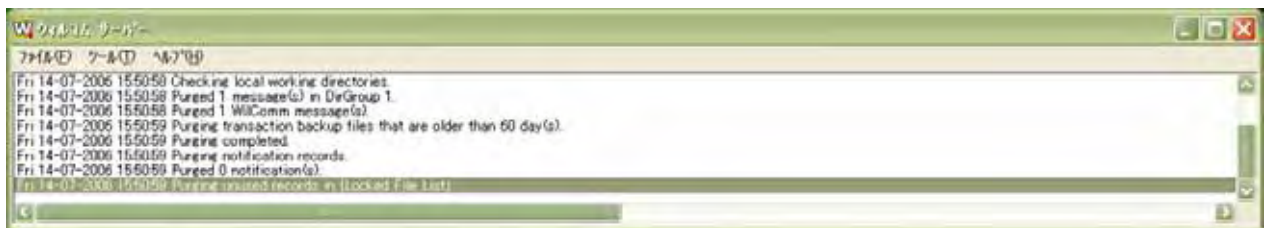
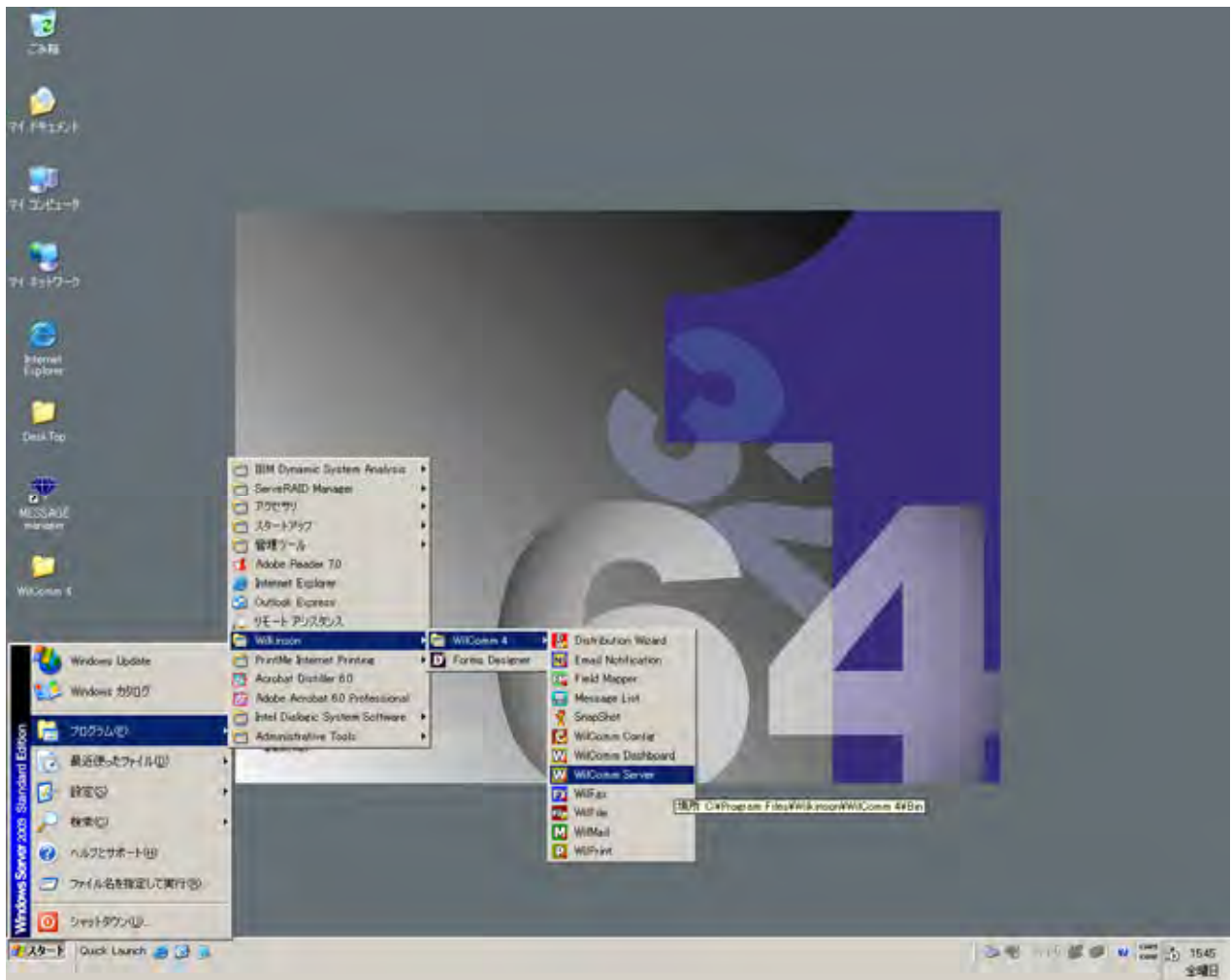
iSeries コマンド: **STRTCPSVR SERVER(*NETSVR)** によりネットサーバーを起動します。

それでも接続されない場合は、iSeries の障害も考えられますので、IBM もしくは IBM 特約店にご相談ください。

ネットサーバーは、iSeries 上のフォルダを共有フォルダとして Windows ネットワークに対して公開するサービスです。



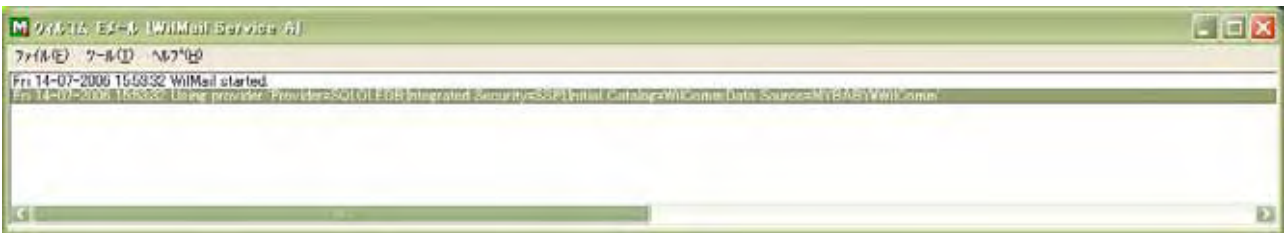
「スタート」→「プログラム」→「Wilkinson」→「Wilcomm 4」→「Wilcomm Server」を起動します。



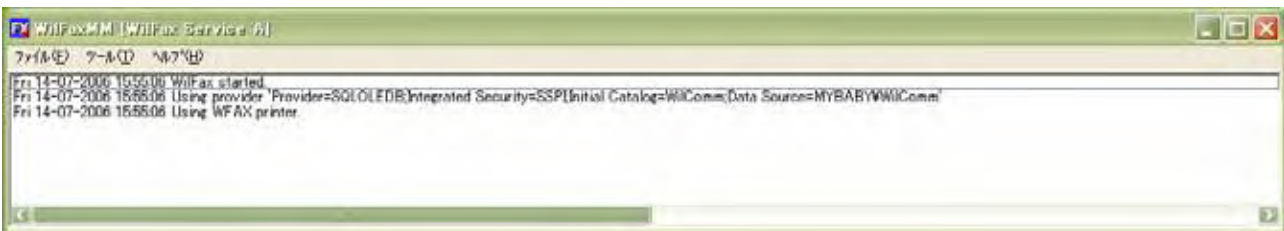
以下、ご購入いただきましたライセンスの中からご使用になりたいサービスを起動します。



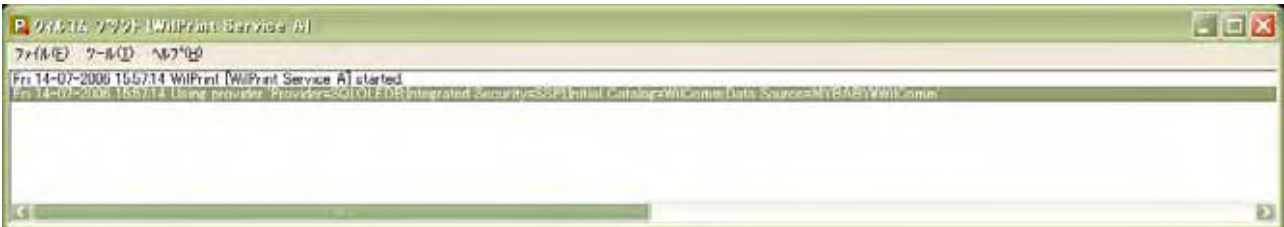
「スタート」→「プログラム」→「Wilkinson」→「Wilcomm 4」→「WiMail」を起動します。



「スタート」→「プログラム」→「Wilkinson」→「Wilcomm 4」→「WiFax」を起動します。



「スタート」→「プログラム」→「Wilkinson」→「Wilcomm 4」→「WiPrint」を起動します。



「スタート」→「プログラム」→「Wilkinson」→「Wilcomm 4」→「WiFile」を起動します。



ウィルコム の起動を自動化するために、Windows のスタートアップ・フォルダを使用することが可能です。
Wilcomm インストール CD「WilComm 400 Disk-2 For PC」にあります以下の2つのファイルをウィルコム のフォルダにコピーしてください。

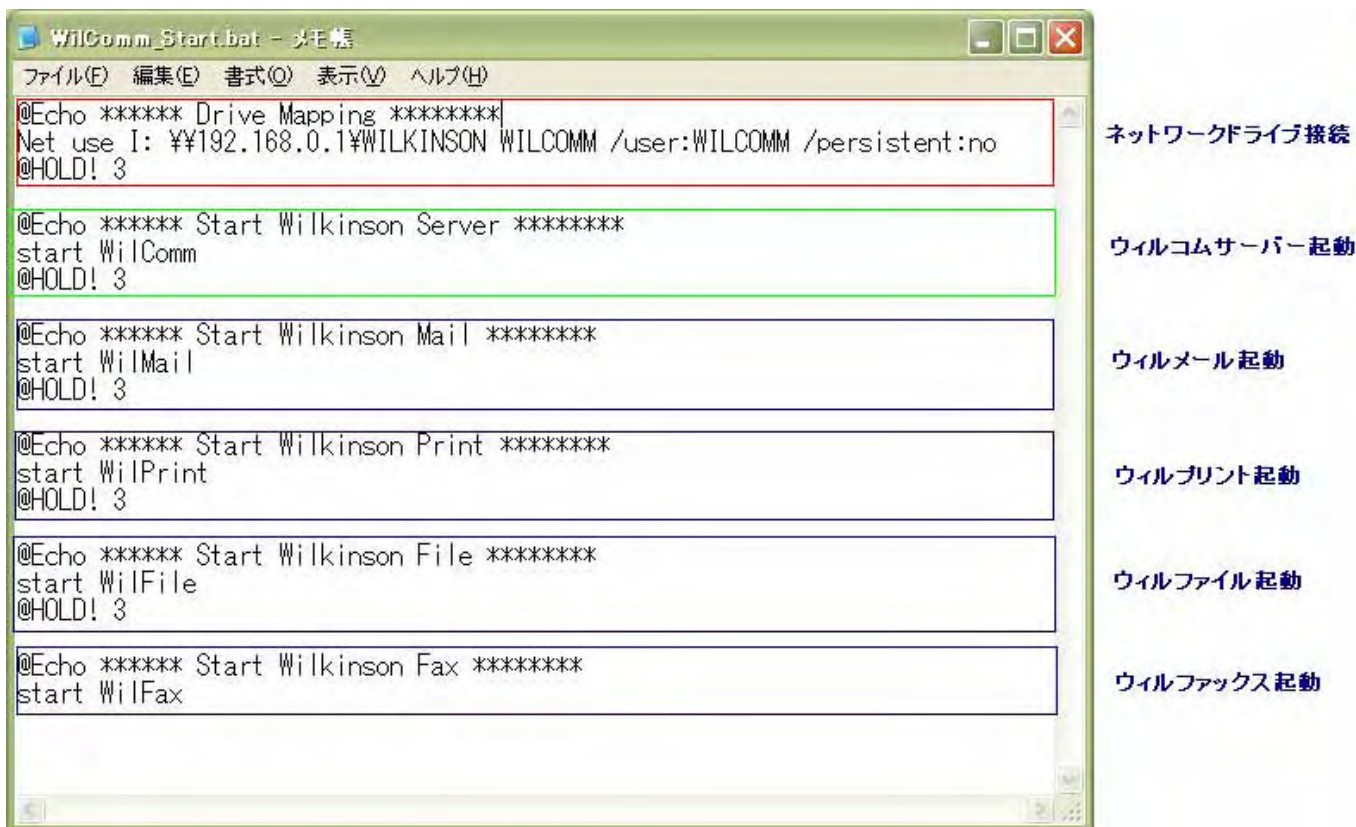
①CDROM Drive¥WilComm_JP¥Utilities¥WilComm_Start.bat

②CDROM Drive¥WilComm_JP¥Utilities¥HOLD!.exe

コピー先 : C:¥Program Files¥Wilkinson¥WilComm 4¥Bin

WilComm_Start.bat を右クリックでプロパティを表示し、属性「読み取り専用」のチェックをはずしてください。更に編集するために、右クリックで「編集」を選択してください。

WilComm_Start.bat の内容は次頁の通りです。



ネットワークドライブの再接続 / Wilcomm Server / WilMail / WilPrint / WilFile/ WilFax の順に起動するようになっています。ご購入いただきましたライセンス及び自動化したいモジュールをご検討いただいた上で、**不要な行は削除**してください。 **緑枠部** は削除しないでください。また、お客様の環境に応じて**ドライブ名等のパスを修正**する必要があります。

赤枠部 を使用される場合

Net use I: ¥¥192.168.0.1¥wilkinson wilcomm /user:wilcomm /persistent:no

ドライブレターはお客様の環境で書き換えてください。

IP アドレス部は、お客様の iSeries のアドレスに修正してください。

***既にネットワークドライブを PC リブートの都度、接続を復元するように設定されている場合は、一旦マイコンピュータにてネットワークドライブを切断してください。以降は当パッチファイルで自動的に接続されることになります。**

修正が終了したら、保存してファイルを閉じてください。

WilComm_Start.bat の**ショートカット**を Windows のスタートアップ・フォルダに作成してください。

[4. PC Server の威尔コム停止方法]

Wilcomm Server / WilMail / WilPrint / WilFile / WilFax どのサービスもウィンドウ右上の「×ボタン」で終了します。



或いは、タスクバーで右クリック→「閉じる」を選択してください。

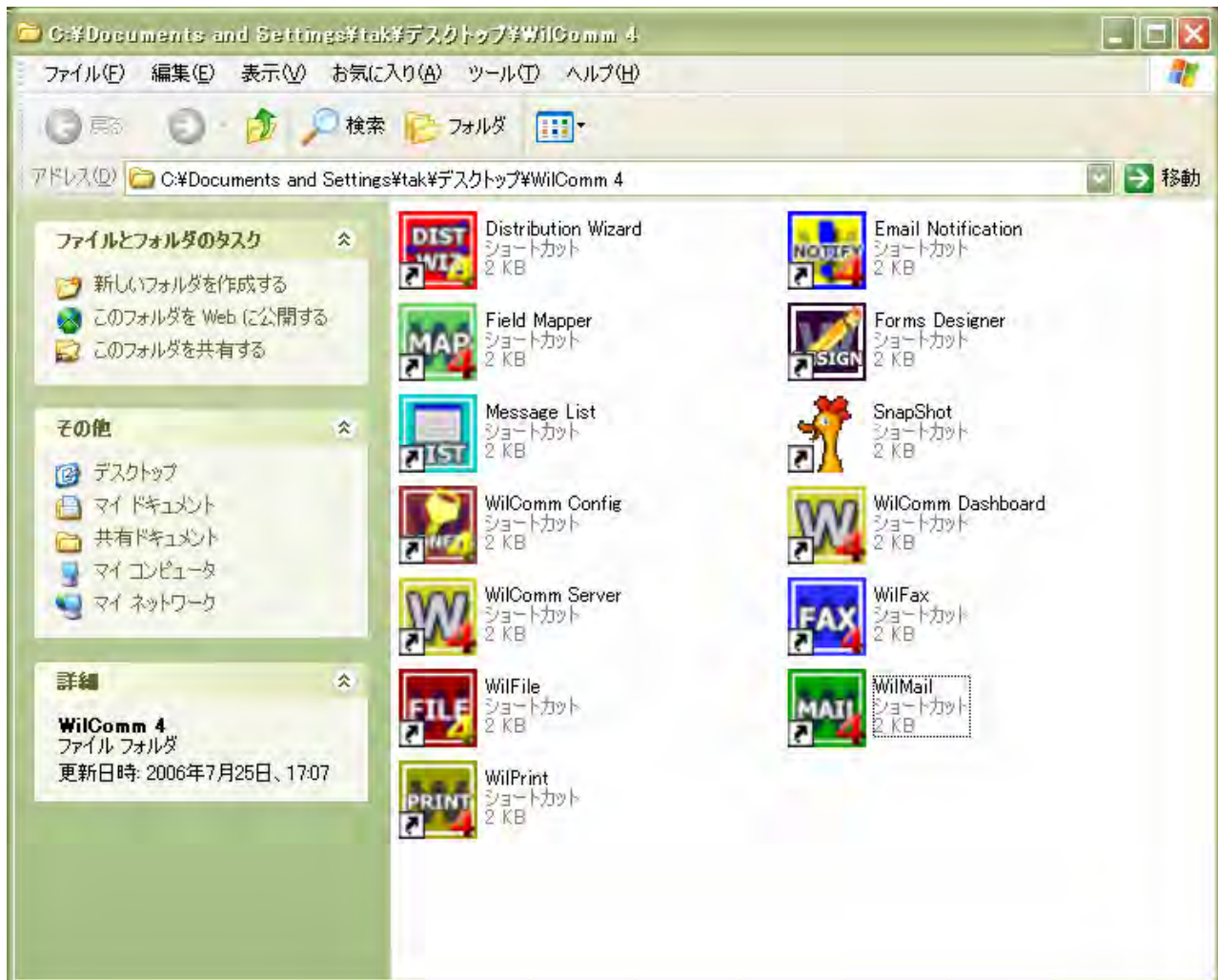


***** Wilcomm は自動停止の機能を備えておりません。**

WilComm を起動したままタスクスケジューラ等で Windows をリブートした場合、Wilcomm のデータベースが破損する恐れがあります。停止に関しましては、マニュアル操作にて行っていただきますよう、お願いいたします。

[5. 補足]

PC サーバーにおける各サービスの起動は、デスクトップ上にありますフォルダ「WilComm 4」にありますショートカットをダブルクリックすることでも可能です。



- Note -

MEMOREX SUPPORT

MEMOREX サポートサイト:



<http://as.memorex.co.jp/support/agreement/wilsupport.html>

- ※ ユーザ名、パスワードは SE サポート契約書 No. です。
- ※ 全桁半角大文字

お問合せ先:

MEMOREX AN サポートセンター

[サポート時間帯]

月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝祭日年末年始は除く)

- ※ 緊急のトラブル以外は、メールでお願いしております。
- ※ メールは 24 時間受け付けております。

E - m a i l : an_support@kel.co.jp

TEL/FAX : 03-5777-2533